

平成 30 年度 小牧市民病院運営協議会 会議記録

日 時：平成 30 年 11 月 6 日（火） 午後 2 時

場 所：小牧市民病院 大会議室（8 階）

出席者：〔委員〕谷口委員、舟橋委員、吉田（友）委員、森委員、高野委員、
鈴木委員、斎藤委員、仁川委員、林委員、廣畑委員
〔事務局〕永井事務局長、澤木事務局次長、泉病院総務課長、舟橋医事課長
波多野新病院建設推進室長、佐久間患者支援センター室長、
藤村病院総務課庶務係長、舟橋病院総務課人事係長、
横山病院総務課経理係長

欠席者：〔委員〕木村委員、吉田（千）委員

傍聴者：なし

議 題：（1）小牧市民病院の現況について
（2）平成 29 年度小牧市病院事業決算について
（3）新病院建設について

会議内容

【事務局】（永井事務局長）

本日は皆様ご多忙の中、小牧市民病院運営協議会にご出席いただきましてありがとうございます。

私、本日の司会を務めさせていただきます 事務局長の永井と申します。よろしくお願ひします。

委員の皆様方におかれましては、日ごろから小牧市民病院の運営に関しまして格別なるご理解・ご協力を賜り、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

この会議は、小牧市民病院運営協議会設置条例に基づき開催するものであります。本日の議題は、お手元に配布してあります次第のとおりとなっておりますが、皆様方の忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。

また、本日の配布資料といたしまして小牧市民病院運営協議会次第、資料 1 小牧市民病院運営協議会委員名簿、資料 4 新小牧市民病院建設進捗報告資料、そして病院年報 2017 をご用意させていただいております。すでに案内文とともに送付しております資料とともにご確認ください。

会議の開催につきましては、小牧市民病院運営協議会設置条例第6条により、過半数の委員の出席により開くこととなっております。

委員12名のうち春日井保健所長の木村様、小牧市女性の会役員の吉田様、の2名の委員より欠席のご連絡をいただいておりますが、過半数以上の委員に出席いただいておりますので、会議は成立となります。

なお、当審議会は、その審議の状況を明らかにすることにより、運営の透明性、公正性を確保するため、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づく公開の会議となりますのでご承知置き下さいますようお願いいたします。

それでは、ただいまから小牧市民病院運営協議会を開催いたします。

まず始めに、谷口会長からあいさつをお願いいたします。

【谷口会長】

みなさんこんにちは。病院長の谷口でございます。本日は小牧市民病院運営協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。この運営協議会は、小牧市民病院の運営状況につきまして、外部からの目も含めまして、審議していただく目的で設置されております。

今回、会場に来ていただく際にも見ていただいたと思いますが、新病院もかなり完成に近づいてまいりました。ほぼ外壁は完成し、今は内装の仕上げを行っている状況でございます。今後の予定といたしましては、1月末には引渡しとなりますので、2月から3ヶ月かけて運用の準備をしたうえで、5月1日に開院を目指しているという状況であります。

当院は、これまで以上により良い医療を提供するように努めてまいるところであります。本日は、現在の病院の経営状況や平成29年度決算及び新病院の建設について説明させていただき、委員皆様の忌憚りの無いご意見をいただきましてより良い病院にできるよう努めていきたいと思っておりますので、本日はどうぞよろしく申し上げます。

【事務局】（永井事務局長）

ありがとうございました。

続きまして、次第の2運営協議会委員の紹介をさせていただきます。資料1の小牧市民病院運営協議会委員名簿をご覧ください。名簿のとおりであります。改選によりまして、小牧市医師会会長の森委員、小牧市医師会副会長の高野委員、小牧市区長会連合副会長の舟橋委員が変更となっております。

前回欠席の委員の方もおられますので、出席委員のお名前をお呼びすることで紹介に代えさせていただきます。

会長の正面、窓側の委員から順番にお名前をお呼びしますので、よろしく申し上げます。

小牧市医師会会長の森様、小牧市医師会副会長の高野様、小牧市区長会連合副会長の舟橋様、小牧市社会福祉協議会副会長の吉田様、小牧市総務部長の林様、会長の右側から、

小牧商工会議所副会頭の鈴木様、名古屋造形大学特任教授の斎藤様、中部大学経営情報学部教授の仁川様、小牧市役所健康福祉部長の廣畑様でございます。よろしくお願いいたします。

続きまして、事務局の紹介をさせていただきます。

前列から、事務局次長の澤木です。医事課長の舟橋です。患者支援センター室長の佐久間です。病院総務課長の泉です。新病院建設推進室長の波多野です。後列から病院総務課人事係長の舟橋です。病院総務課庶務係長の藤村です。病院総務課経理係長の横山です。私、事務局長の永井です。よろしくお願いいたします。

続きまして、次第3議題及び4その他の進行を会長にお願いいたします。

【谷口会長】

それでは次第3、議事に入ります。議題(1)「小牧市民病院の現況について」であります。事務局より説明をお願いします。

【事務局】（泉総務課長）

それでは、小牧市民病院の現況について説明をさせていただきます。

資料2の経営状況表をご覧ください。

1の事業収益の最下段収益累計は、平成30年度上半期の数値ですが、対前年比100.0%となりました。

2の事業費用の下から3行目費用累計は、平成30年度上半期の数値ですが、対前年比99.6%となり、上半期の収益と費用の累計差額は対前年比108.7%、3億9,087万円余となりました。

平成30年の9月度におきまして、まず、入院単価は増加したものの、入院患者の減により入院収益は6.1ポイント減少しました。一方、外来患者数は2,154人減少し、外来収益は患者数減少の影響により7.9ポイント減少しました。給与費につきましても、平成29年度は9月に支払った共済組合追加費用を、平成30年度は8月に支払ったことなどにより、1億746万円余の減少であります。また、高額薬剤の使用の減少や、薬価改定による薬品費の値引きの影響により、薬価ベースで6,221万円余の減少でございます。これにより、入院収益、外来収益、給与費、薬品費等は減少しております。

平成30年度の下半期につきましては、患者数は減少しているものの、収益面は昨年と同様推移していくものと考えています。しかし、平成28年から新病院の建設工事の影響で、多大に発生する控除対象外消費税の増大など、損益に大きな影響を与えることが見込まれています。

よって、今後も経費削減に努め、経営の効率化を図り、経常的な面についてはプラスとなるよう下半期も努力してまいります。

以上です。

【谷口会長】

ありがとうございました。

この件について、何かご質問、ご意見はございませんか。

外来患者数については、国の方針もありまして、地域での役割分担や連携を進めているところでもあります。当院はできるだけ入院医療に注力するというので、外来につきましても、当院でなければできない抗がん剤治療など、特殊な外来に注力するというので、連携を進めながら、外来患者数は今後さらに減る可能性があると思っております。しかし、特殊な外来の診療を中心にやっていると、外来単価自体は上がるので、トータルでは外来患者が減りましても、それほど大きくは外来収益の減少はないと思われまます。本来であれば、その分入院医療でカバーしなければならぬところではありますが、まだそこまでは及んでいないというところが悩みのひとつであります。さらに、来年にかけて問題なのは消費税であります。医療費については、消費税がかからないのですが、当院のようにいろいろな医療機器など高額なものを購入する病院にとってはかなりの負担になっている状況であります。国のほうとしては、その負担分については、診療報酬で補っている、ということをおっしゃっていましたが、最近新聞でも報道されておりましたが、その補填の割合がかなり低く、公立病院の場合ですと7割ほどしか補填されていなかったということがわかりました。来年の10%にあがる時に向けて、その補填がどのように行われるかということもかなり気になる点にはなります。

特に意見等ございませんか。

それでは続きまして、議題(2)「平成29年度小牧市病院事業決算について」を事務局より説明をお願いします。

【事務局】（泉総務課長）

平成29年度小牧市病院事業決算について説明をさせていただきます。

最初に平成29年度愛知県小牧市病院事業決算書の20ページをお願いいたします。

平成29年度小牧市病院事業報告書の総括事項でございます。

国においては、引き続き医療機能の分化・連携の推進や地域全体で切れ目なく必要な医療が提供される地域完結型医療を推進しています。

このような状況の中、救急医療やがん診療、高次医療など、尾張北部医療圏の中核病院として、地域医療の確保及び医療水準の向上に寄与するとともに、地域医療支援病院として地域住民の医療ニーズ等に対応するため、地域の医療機関との連携をさらに推し進めてまいりました。

そこで平成29年度における病院利用状況につきましては、入院延患者数が対前年度比4,545人減の17万2,681人、外来延患者数が対前年度比1万7,129人減の32万476人となりました。

経理状況につきましては、収益的収支では、総収益が対前年度比0.9%減の200億

3, 880万9, 950円、総費用が対前年度比1. 3%増の203億1, 808万2, 554円となり、差し引き2億7, 927万2, 604円の純損失となりました。

資本的収支では、資本的収入が対前年度比479. 9%増の51億4, 974万5, 000円、資本的支出が対前年度比210. 8%増の62億2, 909万1, 970円となりました。

それでは、少し戻っていただきまして4ページ、5ページをお願いいたします。

平成29年度小牧市病院事業決算報告書であります。

この表は、消費税及び地方消費税込みの収益的収入及び支出でございます。

収入であります。第1款、病院事業収益の決算額は、201億842万円余となりました。下段の支出ですが第1款、病院事業費用の決算額は、203億4, 918万円余となりました。

6ページ、7ページをお願いいたします。

資本的収入及び支出でございます。この金額も消費税及び地方消費税込みでございます。

収入ですが、第1款、資本的収入の決算額は、51億4, 974万円余となりました。下段の支出ですが、第1款、資本的支出の決算額は、62億2, 909万円余となりました。

8ページ、9ページをお願いいたします。

損益計算書でございます。この表は、消費税及び地方消費税抜きの金額でございます。

1の医業収益のうち(1)の入院収益は、118億6, 108万円余でございます。前年度に比べ8, 274万円余、0. 7%の減となりました。

(2)の外来収益は、64億7, 137万円余で、前年度に比べ7, 867万円余、1. 2%の減となりました。

(3)のその他医業収益6億3, 322万円余を含めた医業収益全体では189億6, 567万円余となり、前年度に比べ1億7, 369万円余、0. 9%の減となりました。

次に2の医業費用で主なものは、(1)の給与費93億4, 106万円余で、前年度に比べ1億4, 279万円余、1. 6%の増となりました。

(2)の材料費は、55億3, 289万円余で、前年度に比べ1, 551万円余、0. 3%の増となりました。

(3)の経費、(4)の減価償却費等を含めました医業費用全体では、190億9, 913万円余で、前年度に比べ1億9, 093万円余、1. 0%の増となりました。

これによりまして、医業損失は1億3, 345万円余であり、前年度に比べ3億6, 462万円余の減となりました。

次に3の医業外収益につきましては、(2)の他会計補助及び負担金、(4)の長期前受金戻入、(5)のその他医業外収益等で9億9, 869万円余、前年度に比べ6, 869万円余、6. 4%の減となりました。

4の医業外費用につきましては、(1)の支払利息及び企業債取扱諸費と、(2)の保育

費、(3)の雑損失を合わせまして、8億3,497万円余で、前年度に比べ2,200万円余、2.6%の減となりました。

これによりまして、医業収支と医業外収支をあわせました経常利益は、3,026万円余であり、前年度に比べ4億1,131万円余の減となりました。

さらに、特別利益、特別損失を合わせますと、当年度の損益は、対前年度比4億4,224万円余減の2億7,927万円余の純損失となりました。

これにより、前年度の繰越利益剰余金及びその他未処分利益剰余金変動額をあわせ、当年度の未処分利益剰余金は、45億2,492万円余となりました。

続きまして、12ページをお願いいたします。平成29年度小牧市病院事業 剰余金処分計算書でございます。

ただいま、申し上げました未処分利益剰余金を繰越利益剰余金として、翌年度へ繰り越すものでございます。

続きまして、13ページから15ページまでの貸借対照表をお願いいたします。平成29年度小牧市病院事業貸借対照表でございます。

13ページの最下段の資産合計並びに15ページの最下段の負債資本合計は、421億2,357万円余となりました。前年度に比べ61億8,414万円余、17.2%の増でございます。

なお、決算附属書類としまして、20ページ以降に平成29年度小牧市病院事業報告書、キャッシュ・フロー計算書、収益費用明細書、固定資産明細書、企業債明細書を添付しております。また、別冊の決算参考資料もご参照いただきたいと思います。

以上で平成29年度病院事業決算の説明とさせていただきます。

【谷口会長】

説明は終わりました。

この件について、何か質問、ご意見はございませんか。

【仁川委員】

8ページの医業損失です。全般的に改善していかなければならないという問題もあると思うのですが、医業費用の減価償却費は新病院が完成後、かなり額が膨れ上がると思うのですが、今後も医業費用が上がっていくという見込みの中で、医業損失が今度どうなっていくかというシミュレーションは、持続可能性の観点から改善の方針や施策なりがあるのでしょうか。

【事務局】(泉総務課長)

減価償却費につきましては、新病院が完成いたしますと10億円から倍の20億円になると想定しております。そのうち、医療機器につきましては5年から6年の償却期間とな

りますので、5年から6年を過ぎた後については、通常通りの減価償却費となる見込であります。

【谷口会長】

他によろしいでしょうか。

続きまして、議題(3)「新病院建設について」を事務局より説明をお願いします。

【事務局】(波多野新病院建設推進室長)

新病院建設の進捗状況を報告させていただきます。

航空写真の載っている資料をご覧ください。新病院の外観はほぼ完成しております。一番上の写真ですが、工事着手前の状況であります。現病院南棟の西側に上切公園がございます。診療棟の西側には駐車場と民間のアパートがございます。北棟の西側には職員宿舎がございました。こちらに新病院を建設しております。

左下の写真ですが、工事の着手が平成28年9月からでして、平成28年12月の段階で建物等の撤去が完了した状況であります。周囲に仮囲いをしながら土留めをしている状況です。

右下の写真は、平成30年10月の航空写真であります。外観もほぼできあがっており、現在設備を中心に作業しており、多い日には500人ほどの作業員が従事している状況です。

続きまして、パースの資料をご覧ください。

こちらは新病院の南東側からの図になります。外観もできあがっており、イメージどおりではあるのかなと思います。周りの状況は、公園等についてはこれからとなります。

スケジュールと今後の予定ですが、平成28年9月に着手しておりまして、平成31年1月末に完成の予定をしております。その後、新しい医療機器や家具などを搬入する予定であります。ある程度搬入ができましたら、内覧会を行います。3月16日に竣工式典を予定しておりますので、委員の皆様にもご出席をお願いいたします。16日の午後と17日にかけて一般内覧会の予定をしております。5月1日に開院ということで、病棟の引越しをする予定です。新元号になる日ということで、祝日なので外来は休む予定であります。5月7日ゴールデンウィーク明けに外来診療の開始ということです。5月11日には新病院開院記念講演ということで、全国自治体病院協議会の会長などをお呼びしまして、講演を賜りたいと思っております。

北棟の改修については、新病院に北棟3階の病棟も移りますので、その後改修し、更衣室や事務室、会議室として使う予定をしております。5月から9月にかけて改修を行う予定であります。

既存病棟につきましては、北棟改修後、11月頃から本格的に解体を行っていく予定としております。その後、平成32年7月までに解体を完了し、平成32年8月から立体駐

車場、公園の整備をする予定であります。

以上で説明とさせていただきます。

【谷口会長】

説明は終わりました。この件について、何か質問、ご意見はございませんか。

新病院開院の日は元号の変わる日と一致するということです。当初は4月に変わると思っておりましたら、諸事情で5月1日になるということでした。先日の新聞報道で、国会にて5月1日が祝日に制定されるということです。そうしますと祝日法という法律の関係で、前後の平日も休みになるということで日本全国が9連休、土曜日を含めると10連休になるという状況です。1日の引越しが一番心配されるころではありますが、物品の引越しよりも患者さんの移動があるので、かなり神経を使わなければならないと考えております。

何かご意見ございますか。

続きまして、「4. その他」に入りたいと思います。

委員の皆様にご集まいただきましたせっかくの機会でもありますので、議題以外で、市民病院の関係でお気づきの点など、ご意見を伺えたらどうかと思います。

【斎藤委員】

託児の施設は新病院の中に入るのでしょうか。

【事務局】（泉総務課長）

保育所につきましては、現在院外にあるものを今後も使用していきます。

【谷口会長】

その他いかがでしょうか。

【舟橋委員】

市民からよく伺うのですが、市民病院が満杯の場合、どこか連携をとってみえる病院が固定されているなどあるのでしょうか。

【谷口会長】

特に固定されているなどはないのですが、同規模の病院ですと同じ医療圏の中で対応するものですから、尾張北部医療圏の中では、春日井市民病院や江南厚生病院が同規模の病院にあたります。それ以外の比較的軽症の方を受けていただく、リハビリの方を受けていただく病院は、小牧市内には小牧第一病院しかないのですが、もう一箇所来年の春に向けて、羊蹄会の病院が開院になるということを知っております。周辺の春日井市をはじめ岩

倉市等といろいろ連携している病院はございますので、そのあたりは患者支援センターの中で把握しながら、患者さんのニーズに合わせてご案内できるような体制はとっております。

【舟橋委員】

救急の場合は、最初に市民病院にきて治療していただいてから連携病院へ行くのでしょうか。

【谷口会長】

入院治療が必要となった場合は、急性期の治療や高度急性期の治療をメインで行っておりますので、例えばその治療のあともう少し治療が必要な場合や、リハビリが必要となった場合に転院していただくということはしております。療養についても同じです。

【舟橋委員】

市民の方からよく聞くのが、市民病院へ入院しても早く外の病院へ転院させられると聞くのですが、そのとき我々も高度医療をやっていただいているから、最初に高度医療を受けられる市民としては幸せなところに住んでいるのですよ、と区の方にもお話しています。そこから、各地域医院の先生から市民病院と連携してすぐに高度医療を受けられるのは幸運だと思いますので、今度の新病院でも全面的に高度医療を取り上げていただいて、ますます市民が安心して治療を受けられるようがんばっていただきたいなと思います。

【谷口会長】

ありがとうございます。ご期待に沿えるようにがんばりたいと思います。以前はひとつの病院で医療を完結するというスタイルだったのですが、今は高齢化等も進んできておりまして、基本的なところで労働力不足というものが今後起こっていくものですから、うまく役割分担をしながら地域で医療を完結していく方向に向かっております。当院としましても、そういう方向で高次医療、高度急性期、あるいは急性期医療を中心に提供させていただきます。その代わりに、地域で悪くなられた方を受け入れる体制などはしっかりと整えながら、流れが途切れないようにしたいと思っております。

【舟橋委員】

私事なのですが、先日私の友達が市民病院以外の外科の病院に通っていて、どうもおかしいということで市民病院を紹介してもらいました。結果的に心不全で危ないところだったようで、非常に助かったということでした。高度医療をやっていただいて、診療も早く、地域の先生方も市民病院と連携をしてもらい、すぐ対応してもらって命が助かったということで、つくづくいい病院であるので、ますますがんばっていただきたいです。

【谷口会長】

ありがとうございます。

他はいかがでしょうか。せつかくの機会ですのでぜひご意見お聞かせください。

【齋藤委員】

医師の過重労働なども重要な課題だと思うのですが、何か対策をしているのでしょうか。

【谷口会長】

非常に難しい問題がありまして、やはり重要視しなければならないのは、医療の質だと思います。それから、仕事をしている医療者の健康であります。そのふたつのバランスをうまくとりながら進めなければならないです。ただ、いままではどちらかという、医師なりがいろいろやりたいことがある場合はどんどんやってもらっていたのですが、その場合時間外の勤務についても、やらせるよりもやってもらっているというスタイルでやってきました。そうしますと、時として健康問題に影響してしまうということもあります。でするので最近では、ある程度質も担保しながら時間についても病院でしっかり管理して指導するという体制は整いつつあるところですが、ただ、サラリーマン的に9時から17時で終わるとはいかない職種です。時間外が何時間になりましたのでこれ以上診療できませんとは言いつらいところもあります。しかし、先ほど申しましたように、医療の質をしっかりと担保するということと、医療者の健康問題をしっかりと管理するという点については、引き続き注力していきたいと思っております。

【齋藤委員】

昔入院してお世話になったことがありまして、すばらしい先生が親身になって治療していただいたのですが、ほんとに朝早くから夜遅くまで働いてらっしゃる先生の姿を見ると、ボランティア的にやっていたらいい方もいるのでしょうか、診ていただく先生が病気になってしまうといけないので、ぜひ改善して、やっていることを進めていってください。

【谷口会長】

ありがとうございます。

その他いかがでしょうか。

ないようでしたら、これで議題を終了させていただきます。

あとは事務局お願いします。

【事務局】（永井事務局長）

大変ありがとうございました。それでは、事務局から 1 点連絡させていただきます。次回
の開催予定であります。次回は、来年度に開催させていただきたいと思います。後日、
日程調整をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

これをもちまして、小牧市民病院運営協議会を閉会いたします。お疲れ様でした。